



平成27年4月

杉並区立富士見丘中学校

第7号

学校運営協議会だより

子どもの可能性

学校運営協議会会長
ちよう しゅんすけ
長 俊介
(日本スクールソーシャルワーク協会会長)
(修復的対話フォーラム副理事長)



子どもたちと関わる時に心がけていること、問題点よりも可能性に焦点を当てる。起こってしまった出来事ばかりに気をとられるのではなく、その子の持っている可能性を考える。これまでも子どもたちはいつも驚かせてくれた。家の中のドアノブを、触るごとに手を洗うほど神経質になっていた彼女が、夢を見つけて大学に進学したり、ケンカに明け暮れて英語もまったくできなかった彼が、留学をして現地の大学に進学したり、いつも無限の可能性を感じさせてくれる。だからいつだって思っている。「過去と他人は変えられない。でも、未来と自分は変えられる。」と

一期一会

校長
わたなべ せんじ
渡邊 仙二



「一期」とは一生という意味、「一会」とは一度の出会いという意味で、人と人との出会いは一度限りの大切なものといった意味で使われます。

富士見丘中学校は、子どもたちにとって、保護者にとって、地域社会にとって、教職員にとってこの学校との出会いを大切に、「感謝される学校」を目指しています。

そして、夢や希望を実現する力をもっている一人一人の生徒が主人公になれるよう先生方が応援してくれる学校です。

将来への限りない可能性を広げるために何事にも努力し続け、中学校生活を楽しんでください。

平成27年度学校運営協議会委員の紹介

いずかし あつこ 学校・地域コーディネーター
巖樫 敦子 22-23年度PTA会長
24年度から青少年委員

愛される「うちの町の学校」へ

えんどう まさはる 浴風会地域サービス部長
遠藤 雅晴 7・24高井戸や緑野が連携の担当

まちづくりは中学校から

すぎえ みえこ 16～19年度青少年委員
杉江 美枝子 高井戸青少年育成委員

本校の良さ地域に伝えたい

すずき ひさお 同窓会役員(18期生)
鈴木 久雄 杉並区防犯パトロール隊他

生まれ育った地元へ貢献

たなか きょうこ 学校・地域コーディネーター
田中 恭子 16・17年度PTA会長
19～24年度青少年委員

次世代をにぎやかに
子供たちのために

みやはら ひろみ 学校・地域コーディネーター
宮原 弘美 元PTA会長、学校支援本部JOINTの部長
趣味は読書とカメラ

杉並「1」の中学校目指し

やすえ みずき 富士見丘町会長
安江 水城 高井戸青少年育成委員会
富士見丘中震災救援所会長他

町会長として地域と
学校をつなぐ

やすだ ともち 14・15年度PTA会長
安田 智子 リサー子開運業務会社経営

生徒のための学校づくりを

やぶき まさのり 日本教育新聞社勤務
矢吹 正徳 毎日通勤通勤しています。

取材の蓄積を学校づくりに
役立てたい

はまだ かつし
事務局 濱田 克利副校長

地域とのパイプ役に

平成26年度 活動報告

- 学校運営協議会を月2回開催
 - ・校長より経営方針などの説明・意見交換
 - ・学校より行事・校内の様子についての報告
 - ・教員・生徒会役員・PTA役員との懇談
 - ・区の調査報告の概要説明
 - ・教職員の任用に関する意見のまとめ

- 学校生活に対する意識調査・結果報告
- 学校支援本部 JOINT との連携
- 区の教育シンポジウムに参加
- 学校運営協議会だよりの発行

富士見丘中学校は平成23年4月より 地域と共につくる学校 地域運営学校 (コミュニティ・スクール) になりました

地域に開かれ、信頼される学校づくりを目指して、保護者・地域の方々や学識経験者が学校運営協議会委員となり、一定の権限と責任を持って活動しています。学校運営協議会では、保護者・地域の皆さん・子どもたちの声を受けとめるとともに、月1回会合を開き、教職員と学校運営について協議しています。

東京都教育委員会
教職員人事の決定

人事に関する意見

杉並区教育委員会
委員の任命
学校の指定

富士見丘中学校

学校運営協議会

- ・長 俊介(会長)
- ・渡邊 仙二(校長)
- ・委員 9名
- ・事務局(副校長)

[委員の任命・身分]

- ・教育委員会が任命
- ・非常勤公務員
- ・任期は2年
- ・報酬は実費弁償程度

承認

渡邊校長

学校運営の
基本方針

学校運営
教育活動

意見 説明

申請 承認
報告 支援

保護者、地域の皆さん

支援 依頼

連携協力

富士見丘中学校支援本部 JOINT

組織

- ・本部長 宮原 弘美
- ・副本部長 杉江 美枝子
- ・学校・地域コーディネーター
- ・ボランティア
- ・会計、庶務、会計監査

活動

- ・図書活動支援
- ・英検、漢検、数検実施
- ・土曜日学校運営
- ・環境美化支援
- ・教育活動支援
- ・生徒の居場所支援

学校支援本部は

地域住民や元保護者らが中心になり組織された学校の支援団体です。

学校支援本部 JOINT は

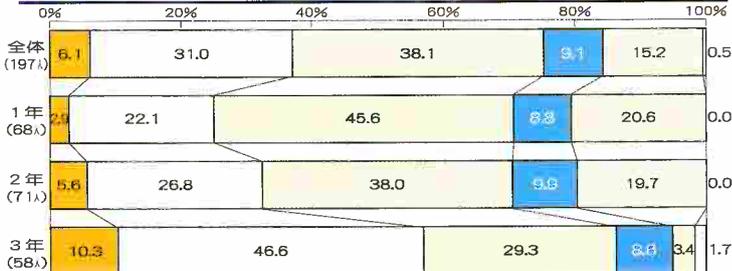
学校運営協議会より1年早い平成22年4月にスタートしました。JOINTには、学校～家庭～地域を「つなぐ」という意味が込められています。学校運営協議会とともに、富士見丘中学校を支えています。



土曜日学校

3/3に配布した「学校運営協議会だより6号」の裏面のアンケートのスコアに一部間違いがありました。正しくは下記の通りです。訂正してお詫びいたします。

2) 子どもの進路について先生と十分に話し合う時間が十分にある(保護者回答)



3) 卒業生の進路情報が十分に提供されている(保護者回答)

